

令和 5 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	10	学校名	県立太田第一高等学校				課程	定時制		学校長名	谷津 勉					
教頭名	[全日制] 茂又 孝裕		[定時制] 渡邊 俊之		[附属中] 小濱 靖彦		事務(室)長名		横山 弘美							
教職員数	教諭	7	養護教諭	1	常勤講師	0	非常勤講師	0	実習教諭、実習講師、実習助手	0	事務職員	0	技術職員等	0	計	8
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数				
	普通科	1	1	0	0	2	1	2	1	5	3	4				

2 目指す学校像

グローバルな課題の解決に挑む力、持続可能な社会づくりに貢献できる力を育む学校

3 三つの方針 (スクール・ポリシー)

育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 自他を尊重し、より良く生きるための自己指導能力を育成する。 (2) 社会の一員として、持続可能な社会づくりに貢献できる力を育成する。 (3) グローバルな課題に気がつき、問題意識を持つことができる力を育成する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 授業の中で自己理解、他者理解を深化させる機会を作る。 (2) 社会生活に必要な知識・技能を学びなおせるよう個別最適化された学びを目指す。 (3) 思考力・判断力・表現力を磨く場面が多くなるように授業を工夫する。 (4) 自己有用感や達成感、協調の意義を感じられるように学校行事を運営する。
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> (1) より良く生きるために学びたいと希望する生徒を募集する。 (2) より良く生きるために積極的に自分を変えようとする勇気のある生徒を募集する。

4 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力が定着していない生徒が多い。 ・学習に取り組む習慣が身につけていない生徒が多い。 ・その日の気分や体調によって授業への取組が大きく変化する生徒が複数おり、対応に苦慮している。 ・板書をノートにとるなど、指示された課題をこなそうとする素直な姿勢はほとんどの生徒に見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT の活用等、授業の工夫・改善を行い、生徒の学習意欲を喚起する必要がある。 ・生徒一人ひとりの個性を理解し、個別に最適な学習指導を考える必要がある。 ・指示を待つ受動的な学習態度を、能動的なものに変えて行く必要がある。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のほとんどが就職希望であるが、勤労観・職業観が十分に形成されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な勤労観・職業観を身につけさせるため、キャリア教育の充実が必要である。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席しがちな生徒や、挨拶・時間を守る等の基本的な生活習慣が身につけていない生徒が見られる ・不規則な生活で心身の不調を訴える生徒が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者等と連携をとりながら、生徒に健康的な生活習慣の確立と自律的行動を促す工夫が必要である。
教職員の働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ・超過勤務時間については月 4 5 時間を超える者はなく、おおむね良好である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに校務の効率化を図り、教職員一人ひとりのワークライフバランスがうまく確立するように環境作りをすることが必要である。

5 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> (1) ICT なども利用した、生徒一人ひとりにとっての個別最適化された学びを実現する授業の確立。 (2) 社会に出る前に適切な勤労観・職業観を身につけられるようにするキャリア教育の充実。 (3) 生徒の自尊感情を育み、自己有用感を高める学校行事の実現。 (4) 教育の質向上のための効率的な業務の進め方による教職員の肉体的、精神的なゆとりの実現。

6 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
個別最適化された学びの推進	① 生徒による授業満足度の平均値が 80 パーセント以上。
キャリア教育の充実	① キャリアガイダンスの実施。 ② 担任による個別面談を月 1 回以上実施。
学校行事の創意工夫	① 文化祭での役割分担を一人一役以上。 ② 年間行事参加率平均が 80 パーセント以上。
適切なワークライフバランスの実現	① 超過勤務時間が月 4 5 時間以上の教職員ゼロ。 ② 時差出勤制度を利用する教職員が 8 割以上。